

CRIC 著作権ビジネス講座 (アドバンス)

技術の進展と著作権

2023
KYOTO

今年4月のG7デジタル相会合において閣僚声明が採択されたAIをはじめ、メタバース、NFTなどの新しい技術は、かつて人類が経験したことがないほどの急速な進展を遂げており、私たちの生活やビジネスに大きな影響を与えるのみならず、現在の社会を根底から変革するような状況にあります。その一方で、著作権の保護や管理に関する新たな課題が生じています。これらの課題に適切に対応するためには、法律や制度を基礎付ける理論的枠組みの確立が急務となっています。

本講座では、AI生成機能と著作権法上の課題、メタバース上における権利処理、NFT・Web3と著作権の関係など、最新の情報とともに、技術の進展によって生じた裁判例を紹介しつつ、法的観点から幅広く解説・検討します。

7/20(THU)

12:30 受付開始

13:00 「AI生成機能の動向を踏まえた著作権法上の課題と対策」

▼
出井 甫 氏

15:00 骨董通り法律事務所 弁護士

Break

15:20 「インターネット技術等の進展によって生じた著作権関係の裁判例等について」

▼
峯 健一郎 氏

17:20 大阪地方裁判所 第21・26民事部 裁判官

7/21(FRI)

9:30 受付開始

10:00 「メタバース上のコンテンツに関する著作権その他の権利処理」

▼
関 真也 氏

12:00 関真也法律事務所 弁護士

Lunch ※昼食(お弁当)をご用意いたします

13:00 「NFT・Web3と著作権」

▼
増田 雅史 氏

15:00 森・濱田松本法律事務所 弁護士

● 開催日 7月20日(木)～21日(金)

● 受講方法 会場 ※LIVE配信は行いません

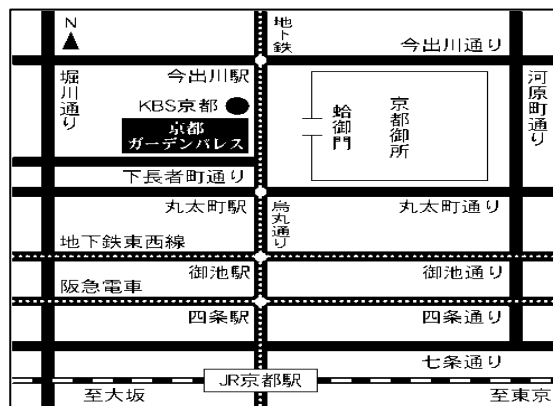
● 会場 京都ガーデンパレス
京都市上京区烏丸通下長者町上ル龍前町605
電話 075-411-0111

● 定員 60名

● 受講費 会員 38,000円(1名・税込)
一般 47,000円(1名・税込)

● 申込期限 7月7日(金)

※京都開催にお申込みいただいた方は、2023年10月26日(木)～27日(金)実施の東京開催のLIVE配信もご視聴いただけます。



会場アクセス

地下鉄：丸太町駅2番出口・今出川駅6番出口から徒歩8分
タクシー：JR京都駅から約15分/阪急烏丸駅から約10分

公益社団法人 著作権情報センター

COPYRIGHT RESEARCH AND INFORMATION CENTER

～講師・講義内容紹介～

AI生成機能の動向を踏まえた著作権法上の課題と対策



出井 甫

IDEI HAJIME

骨董通り法律事務所
弁護士

2017年、内閣府知的財産戦略本部において、AIと著作権に関する課題が複数提起され、専門家などによって議論されました。あれから6年が経ち、当時と状況は変わりました。AI技術はますます発展し、新しい著作権法上の課題も顕在化しつつあります。本講座では、そんなAI生成機能の動向と著作権法上の課題を把握し、今後の対策について考えます。

●●●●●●●●●● **学会等** ●●●●●●●●●●

- ・日本アニメーション学会（監事）
- ・著作権法学会会員
- ・エンターテインメント・ロイヤーズ・ネットワーク会員
- ・弁護士知財ネット会員

《 《 《 講 義 内 容 (予 定) 》 》 》

1. AI生成機能の現状
2. 著作権法上の課題
3. 諸外国の動向
4. 我が国の検討状況
5. 課題への対策

●●●●●●●●●● **略 歴** ●●●●●●●●●●

- 2013年 早稲田大学法学部卒業
司法試験予備試験合格
- 2014年 早稲田大学法科大学院中退
- 2015年 弁護士登録(第一東京弁護士会)
アンダーソン・毛利・友常法律事務所入所
- 2018年 骨董通り法律事務所加入
- 2020年 内閣府知的財産戦略推進事務局 参事官補佐

●●●●●●●●●● **主な著書・論文** ●●●●●●●●●●

- ・『エンターテインメント法実務』（共著/弘文堂/2021）
- ・「AI生成機能の動向と著作権法上の課題への対策」（『コピーライト』/CRIC/2023）
- ・「ロボット・AI社会における知的財産制度の現状と在り方」（共著/『法の支配』/日本法律家協会/2020）
- ・「AI生成物の著作物性の判断基準とその判断手法に関する一考察」（『パテント』/日本弁理士会/2018）

インターネット技術等の進展によって生じた著作権関係の裁判例等について



峯 健一郎

MINE KENICHIROU

大阪地方裁判所
第21・26民事部 裁判官

インターネット・デジタル技術等の進展によって生じた、近時の著作権関係の紛争に関する裁判例等を取り上げ、争点や裁判所の判断等について解説をします。

●●●●●●●●●● **略 歴** ●●●●●●●●●●

- 2011年 任官(大阪地方裁判所)
- 2014年～2021年
北浜法律事務所(弁護士職務経験)
長崎地方裁判所
札幌家庭・地方裁判所苫小牧支部
- 2021年 大阪地方裁判所第21・26民事部

＜お知らせ＞

当日は会場にてCRIC発行の著作権関連書籍を定価の2割引で販売いたしますので、ご興味のある方はぜひこの機会にお買い求めください！

「インターネットビジネスの著作権とルール（第2版）」
（編著：福井健策／共著：池村聡 杉本誠司 増田雅史）
定価 3,080円（本体 2,800円+税）好評発売中！



メタバース上のコンテンツに関する著作権その他の権利処理



関 真也

SEKI MASAYA

関真也法律事務所
弁護士・ニューヨーク州弁護士
日本 VR 学会認定上級 VR 技術者

新たなコンテンツ市場として注目されるメタバースについて、コンテンツの種類やプレイヤーの立場などに応じ、政府での検討状況を踏まえて権利処理実務のポイントを解説します。

学会等

- ・日本知財学会(コンテンツ・マネジメント分科会幹事等)
- ・XR コンソーシアム(社会的課題 WG/メタバース WG/3D スキャン WG 各座長) ・日本バーチャルリアリティ学会
- ・弁護士知財ネット ・ファッションビジネス学会
- ・エンターテインメント・ロイヤーズ・ネットワーク
- ・著作権法学会 ・工業所有権法学会

《 《 《 講 義 内 容 (予 定) 》 》 》

1. メタバースの価値と活用例
2. メタバース空間の作成及び利用の権利処理
3. オブジェクトのデザイン保護
4. アバターと著作権・肖像権・パブリシティ権等
5. モーションデータと実演家の権利
6. 触覚・味覚・嗅覚とデジタルコンテンツ

略 歴

- 2008年 TMI 総合法律事務所入所
- 2015年 南カリフォルニア大学ロースクール卒業
- 2016年 株式会社 KADOKAWA 経営企画局知財法務部 担当部長
- 2019年 関真也法律事務所 開設
- 2023年 経済産業省「Web3.0 時代におけるクリエイターエコノミーの創出に係る研究会」委員
- 2023年 経済産業省・ファッション未来研究会「ファッションローWG」委員

主な著書・論文

- ・『XR・メタバースの知財法務』(中央経済社/2022)
- ・『ファッションロー』(共著/勁草書房/2017)
- ・「デジタルツインその他の現実環境再現型メタバースに関する知的財産法上の課題」(『NBL』/商事法務/2023)
- ・「メタバース・ビジネスと知的財産」(『知財管理』/日本知的財産協会/2023)
- ・「連載:メタバースと著作権法(第1回~第4回)」(『コピライト』/CRIC/2022)

NFT・Web3と著作権



増田 雅史

MASUDA MASAFUMI

森・濱田松本法律事務所
弁護士・ニューヨーク州弁護士
一橋大学大学院法学研究科
特任教授

NFT への注目は 2021 年初頭から急激に高まり、2022 年には政府の基本政策にも「Web3」(ブロックチェーン技術によって実現する分散型インターネットやその利用方法)の推進が盛り込まれました。NFT は Web3 を支えるコンセプトの一つとして、本格的な普及期を迎えようとしています。本講演では、NFT や Web3 の基本的な情報から著作権との関係まで、幅広くお話しします。

学会等

- ・ブロックチェーン推進協会(アドバイザー)
- ・日本暗号資産ビジネス協会 NFT 部会(法律顧問)
- ・情報法制研究所(上席研究員)

《 《 《 講 義 内 容 (予 定) 》 》 》

1. 前提知識の整理(ブロックチェーン、Web3)
2. NFT とは何か、NFT の本質とは何か
3. NFT と著作権の関係/コンテンツ利用許諾の実務
4. ブロックチェーンゲームの論点
5. Web3 領域の政策動向

略 歴

- 2004年 東京大学工学部卒業
- 2007年 中央大学法科大学院修了
- 2009年 経済産業省商務情報政策局メディア・コンテンツ課 制度担当(~2010年)
- 2016年 米国スタンフォード大学法学修士課程修了
- 2023年 一橋大学大学院法学研究科 特任教授(現任)

主な著書・論文

- ・『いまさら聞けない Web3、NFT、メタバースについて増田雅史先生に聞いてみた』(監修/Gakken/2023)
- ・『NFT ビジネス見るだけノート』(監修/宝島社/2022)
- ・『NFT の教科書』(共編著/朝日新聞出版/2021)
- ・「NFT と著作権~アート NFT に関するケーススタディ~」(共著/『コピライト』/CRIC/2021)

お申込みはこちら

⇒ <https://www.cric.or.jp/seminar/index.html>



注意事項

- 講演の録音、録画、写真撮影、ビデオ撮影は固くお断りします。
 - お申込者数より多い人数での受講は固くお断りいたします。
 - 新型コロナウイルス感染症対策におけるマスクの着用につきましては、政府の方針に従い、個人の判断にお任せいたします。今後の感染状況次第では着用をお願いすることもございますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。
 - 今後の新型コロナウイルス感染症の広がりや政府方針等の変更により、セミナーの開催を中止する場合は、速やかに弊センターHPでご案内し、お申込みのあった皆さまに対しては、メール・お電話での連絡、ご入金後であれば返金の対応をさせていただきます。
 - 開催日 1 週間前までに受講票等が届かない場合には、ご一報ください。
 - 参加費は、期日までにお支払いください（当日会場でのお支払いはできません）。
 - 払込金受領証をもって領収証に代えさせていただきます。
 - キャンセルによる返金および他の講座への振替はできません（代理出席は可能です）。
- * CRIC は、日本弁理士会の継続研修の外部機関として認定されており、このセミナーは、日本弁理士会の継続研修として申請中です。この研究会に参加し所定の申請をすると、外部機関研修として 8 単位が認められる予定です。

* お知らせいただいた個人情報は、本講座の運営、および当センターが実施する事業（講座・セミナーの開催や書籍の発行など）のご案内のために必要な範囲以外では利用いたしません。

当センター主催のセミナーや、新刊書籍などの情報をお送りするメールマガジンサービスを行っています。配信をご希望の方は、こちら <https://www.cric.or.jp/magazine/index.html> から登録をお願いします。メールマガジンの配信は無料です。

登録無料



お問合せ先

公益社団法人 著作権情報センター（CRIC）

〒164-0012 東京都中野区本町 1-32-2 ハーモニータワー22F TEL 03-5309-2421

著作権パンフレットのご案内

当センターでは、広く一般の方に著作権制度についてご理解いただくために、著作権パンフレットを作成しています。いずれも、わかりやすい説明と豊富な具体例で、著作権制度について学んでいただくことができますので、ご興味のある方はぜひご覧ください！

※各パンフレットは PDF 版のダウンロードが可能です。

※研修等の資料としてもご利用いただけます。



パンフレットはこちら

⇒ <https://www.cric.or.jp/publication/pamphlet/index.html>